

基本目標2

安全、安心、快適に暮らせるまち

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業①(地域防災関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	①	① 地域防災力の向上

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るための防災・減災事業を推進するため、防災情報伝達手段の確保や防災訓練などの実施による住民の防災意思の向上を図るとともに、地域防災力の向上を図るため自主防災組織の育成を推進する事業である。	自主防災組織に対して各種助成を行い、また、防災士の資格取得者に対して助成を行うことにより、地域防災力の向上をはかる。	計画額	5,381	0	8,000	7,381	20,762	—	—	
			当初予算額	2,949	0	4,000	5,806				12,755
			決算額	92,589	0	3,661	32,409				128,659
H27	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施した。 ※本事業に関する決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	地域で実践的な防災訓練を実施した自主防災組織に対して助成を行った。また、地域における防災リーダーとなる防災士の資格取得に対して助成とを行い、地域防災力の向上に努めた。	計画額	1,331	0	2,000	1,831	5,162	0.3	0.6	
			当初予算額	1,331	0	2,000	1,831				5,162
			決算額	92,589	0	3,661	32,409				128,659
H28	大規模な災害に備えるため、市民を対象とした訓練や研修会などを開催するとともに、地域での訓練や資機材購入に対する支援する。また、未組織地域の解消や活動の活性化を図るため、自主防災組織の広域化を推進するとともに、地域での継続的な訓練を支援するため、自主防災力強化事業費補助事業の要綱を改正する。		計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200			
			当初予算額	1,618	0	2,000	3,975				7,593
			決算額								
H29	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施する。		計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200			
			当初予算額								
			決算額								
H30	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施する。		計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200			
			当初予算額								
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	広域での防災訓練等実施回数	支会単位等の広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修会の実施回数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 5	実績値 5	計画値 7	実績値	計画値 8	実績値	計画値 9	実績値	
	防災訓練等の実施回数	市主催による防災訓練・防災講演会の実施回数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 0	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値	
成果指標	自主防災組織のカバー率	自主防災組織結成行政区内世帯数/住民基本台帳世帯数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 85	実績値 82	計画値 87	実績値	計画値 89	実績値	計画値 90	実績値	
	自主防災組織による活動実施組織数	防災訓練や研修会等の自主防災活動を実施した組織数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 130	実績値 133	計画値 140	実績値	計画値 150	実績値	計画値 160	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	5点		20点 /25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	市民の生命や財産を大災害から守るための防災・減災対策の充実・強化は重要な施策である。また、「自分の安全は自分で守る。地域の安全は地域で守る」という「自助」及び「共助」を基本として、自主防災組織への各種助成事業を実施することにより、自主防災組織の必要性の確立及び活性化を図ることで、地域防災力の強化につながるため。						大規模な災害から市民の生命財産を守るための防災・減災対策には、自助・共助の取り組みが不可欠となることから、各地域での自主防災力の向上を図る必要がある。しかしながら、現状は、地域によりその活動に対し温度差があることから、「災害はいつどこで発生するか分からないもの」という意識のもと、自主防災活動の重要性を啓発する。また、高齢化などにより活動ができない自主防災組織や未結成の地域の解消を図るため、支会単位での広域的な自主防災活動を推進する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業②(防災対策関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	②	② 防災対策等の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	総合計画や地域防災計画に基づき、市民の生命・財産を守るための防災減災事業を推進するため、防災情報伝達手段の確保や避難所などの環境整備などのハード・ソフト事業を組み合わせた事業である。※計画・予算・決算額は「災害発生時における体制の整備」「国民保護体制の整備」を含んでいる。	災害から市民の生命及び財産を守るため、災害時の情報伝達手段や災害備蓄品の整備、避難所の環境整備などのハード・ソフト事業の実施等	計画額	59,565	0	103,550	124,240	287,355	—	—
			当初予算額	57,957	620,800	6,933	46,164	731,854		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H27	香川県の補助金等を活用し、防災行政無線基本計画の策定や緊急輸送車両、備蓄品を整備するとともに、避難所等の環境整備を図るため太陽光発電システムを利用した非常用電源設備を整備した。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	市民の生命・財産を守るため、地域防災計画を修正するとともに、情報伝達手段の確保や備蓄品、避難所の環境整備を図った。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.8	0.0
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28	地域防災計画の修正を図るとともに、緊急避難場所の環境整備、情報伝達手段としての防災行政無線(同報系)のデジタル化を図る。また、被害想定にある避難者を収容するための避難所・緊急避難場所を確保するため、施設管理者との協議を進める。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額							
H29	香川県の地域防災力総合支援事業費補助金等を活用し、備蓄品の整備や各種計画の策定・修正を実施するとともに、老朽化した防災設備の修繕などを実施する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額							
			決算額							
H30	香川県の地域防災力総合支援事業費補助金等を活用し、備蓄品の整備や各種計画の策定・修正を実施するとともに、老朽化した防災設備の修繕などを実施する。また、防災拠点施設の情報伝達手段の整備を図る。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	避難所指定箇所数	災害時に備え避難所指定できる施設等を増やす。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	11	計画値	12	計画値	13	計画値	14	
	緊急避難場所指定箇所数	災害時に備え緊急避難場所として利用できる施設等を増やす。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	41	計画値	42	計画値	43	計画値	45	
成果指標	避難所収容可能人数	指定した避難所の収容可能人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	5,000	計画値	7,000	計画値	7,500	計画値	8,000	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	自主防災組織に対して「自助」及び「共助」の意識高揚を図るために各種助成事業を実施するとともに、情報伝達手段の整備や緊急避難場所における環境整備等のハード対策を講じ、さらに、防災講演会の開催や災害備蓄品の整備等のソフト対策を併せて実施することにより、地域防災力の更なる向上が見込まれるため。						大規模な災害に備えるため、情報伝達手段の適正な管理や設備更新を図るとともに、災害用資機材や備蓄食料など発災時に必要となる物品の充実を図る必要がある。 また、最大クラスの地震津波に備えるため、被害想定されている避難者が避難できる施設を確保する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業③(防災訓練関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	③	③ 災害発生時における体制の整備

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	総合計画や地域防災計画に基づき、市民の生命・財産を守るための防災・減災対策を推進するため、職員に対する訓練を実施することにより、発災時の体制の確認や職員の危機管理意識の向上を図る。※計画・予算・決算額は「②防災対策等の推進」の再掲。	風水害・地震・津波など災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画を見直す。	計画額	59,565	0	103,550	124,240	287,355	—	—
			当初予算額	57,957	620,800	6,933	46,164	731,854		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H27	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施した。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	前年度の配備人数など問題点を検証し改善した職員配備計画に見直した。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.5	0.2
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額							
H29	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額							
			決算額							
H30	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	職員防災研修回数	配備計画分掌事務内容の研修を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 0	実績値 0	計画値 1	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値
	職員配備計画	災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画の作成。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値	計画値 1	実績値
成果指標	職員防災研修参加人数	研修への参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 0	実績値 0	計画値 15	実績値	計画値 30	実績値	計画値 50	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	風水害・地震・津波など災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画とするため、毎年問題点を洗い出し見直していく。緊急避難場所についても迅速に開設できるよう班員の研修を行っていく。災害時に市民が迅速に安心して避難できるよう安全な場所の指定を進めていく。						大規模な災害に備えるため、公助となる市職員の危機管理スキルの向上を図るとともに、関係機関との連携を強化する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	水防活動支援事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	③	③ 災害発生時における体制の整備

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	15	水防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市地域防災計画及び水防計画に基づき、集中豪雨や台風などの水害及び津波から市民の生命及び財産を守るために活動する事業である。	集中豪雨や台風等の水害及び津波から市民の生命及び財産を守るための活動を行う。	計画額	0	0	0	22,722	22,722	—	—
			当初予算額	0	0	0	10,418	10,418		
			決算額	0	0	0	9,618	9,618		
H27	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備えた。	台風の襲来等による水害から市民の生命及び財産を守るための水防活動を実施した。	計画額	0	0	0	5,622	5,622	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,622	5,622		
			決算額	0	0	0	9,618	9,618		
H28	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。		計画額	0	0	0	5,700	5,700		
			当初予算額	0	0	0	4,796	4,796		
			決算額							
H29	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。		計画額	0	0	0	5,700	5,700		
			当初予算額							
			決算額							
H30	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。		計画額	0	0	0	5,700	5,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	水防訓練実施回数	水防団による水防活動訓練の実施回数(隔年実施)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	0	計画値	1	計画値	0
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	水防訓練参加人数	水防団による水防活動訓練の参加人数(隔年実施)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	150	計画値	0	計画値	150	計画値	0
					実績値	164	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	集中豪雨や台風襲来等の災害から市民の生命や財産を守るための水防活動であるため現状維持とする。						台風や集中豪雨などの水害から市民の生命財産を守るための事業であり、今後も計画的に資機材の整備などが必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防操法訓練事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	05	非常備消防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るために活動する「さぬき市消防団」の技術向上を図るため参加する消防操法大会の操法訓練を実施する事業である。	消防動作の基本である操法訓練を行うことにより、団員の消防技術の向上や資質向上を図ることを目的とする。	計画額	0	0	0	14,996	14,996	—	—
			当初予算額	0	0	0	7,205	7,205		
			決算額	0	0	0	3,383	3,383		
H27	さぬき市消防団寒川方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)	寒川方面隊と連携を密にし、常に効率の良い訓練の実施に努めた。	計画額	0	0	0	3,696	3,696	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,696	3,696		
			決算額	0	0	0	3,383	3,383		
H28	具体的な取組 さぬき市消防団志度方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月) 訓練場所: さぬき市役所西側駐車場		計画額	0	0	0	3,700	3,700		
			当初予算額	0	0	0	3,509	3,509		
			決算額							
H29	さぬき市消防団大川方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)		計画額	0	0	0	3,800	3,800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市消防団津田方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)		計画額	0	0	0	3,800	3,800		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	操法大会出場訓練日数	香川県消防操法大会の訓練を実施した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	40	計画値	40	計画値	40	計画値	40
					実績値	38	実績値		実績値		実績値	
成果指標	操法大会出場訓練参加人数	香川県消防操法大会の訓練を実施するにあたり、訓練を円滑に行うため出動人員の確保を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人 (延べ)	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000
					実績値	1,054	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	消防操法大会に出場することによって、消防団員の消防技術の向上と士気高揚が図られるとともに、方面隊幹部内での連携の強化や方面隊幹部の指揮訓練等にもなることから、今後も事業の継続が必要である。					消防団員の消防技術の向上と士気高揚のため消防操法訓練は不可欠なものである。しかしながら、香川県大会への参加団体数の減少など、香川県大会の実施方法等を再検討する必要があると考えられることから、香川県消防協会での検討内容などを注視しながら事業を進める必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防団支援事業
-----	---------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	05	非常備消防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るために活動する「さぬき市消防団」の活動を支援する事業である。	さぬき市消防団員の活動を支援する。 火災の消火活動や地域での防火活動、団員訓練などを実施するとともに、防火啓発活動を推進する。	計画額	1,047	1,834,600	0	2,652,004	4,487,651	—	—
			当初予算額	1,047	575,500	0	1,355,485	1,932,032		
			決算額	941	416,300	1,001	644,000	1,062,242		
H27	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援するとともに、団員の安全確保のための装備を整備した。	消防団員が安全に活動できるように安全装備品の拡充を図り、安全靴や情報通信機器(トランシーバー)の配備を行った。	計画額	1,047	484,600	0	663,004	1,148,651	0.4	0.0
			当初予算額	1,047	484,600	0	663,004	1,148,651		
			決算額	941	416,300	1,001	644,000	1,062,242		
H28	具体的取組 火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援するとともに、団員の安全確保のための装備を整備する。また、被災地や先進的な取組みお行っている消防団の視察研修を実施し、幹部の意識の向上を図る。		計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000		
			当初予算額	0	90,900	0	692,481	783,381		
			決算額							
H29	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援する。また、大川広域消防本部の運営等に係る経費を負担する。		計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援する。また、大川広域消防本部の運営等に係る経費を負担する。		計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	火災予防活動の実施回数	火災件数を減少させるために、火災予防を呼びかける活動を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 4	実績値 4	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値
	消防学校入校人数	本市消防団員が香川県消防学校に入校し研修を受ける人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 20	実績値 2	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値
成果指標	消防団員数	地域の安全を守るための消防団員を確保する。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 590	実績値 588	計画値 600	実績値	計画値 610	実績値	計画値 620	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性 理由	平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性を明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。災害発災時には日頃からの訓練が現場で生かされることから、継続的に事業を実施し、消防団員の資質の向上に努めていく必要がある。						地域の防災力を高めるため少子高齢化などにより減少傾向にある消防団員を女性消防団員の登用や機能別分団の創設等を検討し、消防団員を確保する必要がある。また、消防団員の安全を確保するための安全装備品の整備や継続的な訓練などにより、災害時に安全に活動できる消防団とする必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防施設整備事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るための消防施設等の維持管理等を行う事業である。	消防施設及び設備の維持管理に要する経費である。	計画額	0	12,200	0	43,762	55,962	—	—
			当初予算額	0	6,100	862	19,566	26,528		
			決算額	123	3,500	1,163	10,224	15,010		
H27	消防資機材や施設、設備の適正な維持管理等を行った。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理、末地区の防火水槽整備等。	今後も引き続き消防施設及び設備の維持管理を適正に実施し、いつ発生するかわからない災害に備える必要がある。	計画額	0	6,100	0	10,762	16,862	0.2	0.0
			当初予算額	0	6,100	0	10,762	16,862		
			決算額	123	3,500	1,163	10,224	15,010		
H28	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理を行う。 ※今年度は寒川第3分団屯所においてエアコン取替え修繕、志度第1分団金屋屯所において天井張替修繕を実施する。		計画額	0	6,100	0	11,000	17,100		
			当初予算額	0	0	862	8,804	9,666		
			決算額							
H29	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理等を行う。		計画額	0	0	0	11,000	11,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理等を行う。		計画額	0	0	0	11,000	11,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	消防車等機械器具点検	19分団×月2回×12月で定期的に消防車等の機械器具点検を実施する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	456	計画値	456	計画値	456	計画値	456	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	456	実績値		実績値		実績値		
成果指標	整備不良による事故件数	整備不良による事故件数0を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性を明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。消防団装備についても拡充を図っていきながら、消防施設及び設備の適正な整備及び維持管理を行い、災害発災時に備えておくことが重要となってくることから、継続的に事業を実施していく必要がある。						地域の防災力を維持するため、消防団が利活用する資機材や車両、屯所などを適正に維持管理する必要がある。 特に、災害時に消防団活動を行う拠点施設となる消防屯所のうち老朽化しているものについては、計画的に更新する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防自動車購入事業
-----	-----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るため、地域の消防力を維持する必要があることから、老朽化した消防自動車を更新、整備する事業である。	老朽化した消防自動車を更新し、配備車両の整備をする。	計画額	2,000	106,500	0	3,790	112,290	—	—
			当初予算額	0	59,700	0	1,227	60,927		
			決算額	0	24,600	0	838	25,438		
H27	消防ポンプ車(可搬ポンプ無)1台を更新するとともに水槽車1台を可搬ポンプ付積載車1台に更新した。	消防ポンプ自動車(小田分団)1台、小型動力ポンプ積載車(志度第1分団)1台を更新した。地域性、各分団の要望等を考慮しながらコストの削減に努めた。	計画額	0	27,300	0	990	28,290	0.1	0.0
			当初予算額	0	27,300	0	990	28,290		
			決算額	0	24,600	0	838	25,438		
H28	消防ポンプ車1台及び可搬ポンプ付積載車1台を更新するとともに軽運搬車2台を新たに整備する。 配備先 消防ポンプ自動車: 志度第2分団 可搬ポンプ付積載車: 鴨部分団 軽運搬車: 大川方面隊、寒川方面隊	具体的取組	計画額	2,000	29,700	0	2,300	34,000		
			当初予算額	0	32,400	0	237	32,637		
			決算額							
H29	消防ポンプ車1台及び可搬ポンプ付積載車1台を更新する。	具体的取組	計画額	0	29,700	0	300	30,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	消防ポンプ車1台を更新する。	具体的取組	計画額	0	19,800	0	200	20,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	消防自動車購入	老朽化した消防車両の更新を実施した台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	2	計画値	4	計画値	2	計画値	1
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	消防団配備車両老朽化	20年以上経過している車両比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	17	計画値	15	計画値	10	計画値	5
					実績値	17	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	4点	5点			
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性を明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。消防団装備についても拡充を図っていく必要があることから、消防車両の計画的な更新に努め、消防力の強化(維持)のためにも継続的に事業を実施していく必要がある。						さぬき市消防団の消防力を維持するため必要な消防車両を適正に維持する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消火栓整備事業
-----	---------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るための消防水利(消火栓)の整備及び維持管理等を行う事業である。	消防水利の確保を図るため、市内の消火栓を適正に維持管理する。	計画額	0	0	8,160	23,674	31,834	—	—
			当初予算額	0	0	2,160	5,674	7,834		
			決算額	0	0	1,218	5,726	6,944		
H27	平成27年度の主な事業 水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 下水道工事に伴う消火栓移設工事:4基 消防水利不足地域新設工事:3基	水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 下水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 新設改良工事:4基	計画額	0	0	2,160	5,674	7,834	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	2,160	5,674	7,834		
			決算額	0	0	1,218	5,726	6,944		
H28	事業廃止		計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	消火栓新規設置数	新たに消火栓を設置した箇所数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	基	計画値	3	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	1	実績値	-	実績値	-	実績値	-
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	消防水利不足地域の解消	消防水利が不足している地域へ消火栓を設置し、有事の際には早急に対応できるように対応する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	基	計画値	3	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	2	実績値	-	実績値	-	実績値	-
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	4点		16点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		1点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	市民の生命財産を守るうえで消防水利の確保は非常に重要であり、今後も継続的に事業を実施する必要がある。						防火水槽や消火栓など消防水利に係る業務を一括して管理する事業を新設する。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防水利整備事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民が安全に安心して暮らせるように、火災から市民の生命や財産を守るため消火栓や防火水槽などの消防水利を整備するとともに適正な維持管理等を行う。	消防水利の確保を図るため、市内の消火栓及び防火水槽を適正に維持管理する。また、格納箱の適正な維持管理も行う。	計画額	0	0	4,000	12,000	16,000	—	—
			当初予算額	0	0	1,080	5,892	6,972		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 平成28年度の主な事業 ・水道工事に伴う消火栓移設工事:3基 ・下水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 ・新設改良工事:2基 ・格納箱の維持管理		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額	0	0	1,080	5,892	6,972		
			決算額							
H29	消火栓移設工事及び新設改良工事を実施する。		計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	消火栓移設工事及び新設改良工事を実施する。		計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	消火栓新規整備数	消防水利を確保するために新たに設置した消火栓数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	-	計画値	2	計画値	2	計画値	2
	防火水槽整備数	消防水利を確保するために新たに設置した防火水槽数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	-	計画値	0	計画値	0	計画値	1
成果指標	消防水利数	市内の消防水利数(消火栓数+公設防火水槽数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	-	計画値	1,283	計画値	1,285	計画値	1,288
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	19点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
市民の生命財産を守る上で消防水利の確保は非常に重要であり、今後も継続的に事業を実施する必要がある。						地域の消防力を維持し、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、消防水利の確保は必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防施設用地整備事業
-----	------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 地域の消防力を維持するため、消防施設用地を整備する。	大川広域消防本部や消防団屯所など施設建設に伴う用地を整備する。	計画額	0	0	0	0	—	—	
			当初予算額	0	10,900	0	590			11,490
			決算額	0	0	0	0			0
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	-	-	
			当初予算額	0	0	0	0			0
			決算額	0	0	0	0			0
H28	具体的取組 大川広域西消防署寒川分署の用地を確保するため、寒川支所分庁舎を解体する。※平成28年度で事業終了予定		計画額	0	0	0	0			
			当初予算額	0	10,900	0	590			11,490
			決算額							
H29			計画額							
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額							
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	事業進捗状況	事業進捗率	<input type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	-	計画値	100	計画値	-	計画値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	-	実績値		実績値		実績値		
成果指標	消防施設用地の確保	消防用地整備面積	<input type="checkbox"/> 総合計画	m ²	計画値	-	計画値	2,025	計画値	-	計画値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	-	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	さぬき市内にある2消防(分)署について、同時期に建築されたものであるため、建替えも同時期になることから、当該2施設についての用地確保が必要となる。H28年度については寒川分署についての用地確保を実施することから、今後は西消防署の用地確保をする必要がある。						地域の防災力を維持するため必要な消防施設を整備するために必要な用地の確保は必要である。H29年度以降は、老朽化した消防屯所の更新などの検討に併せ事業を検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業④(国民保護計画関係)
-----	-------------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	⑤	⑤国民保護体制の整備

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	さぬき市国民保護計画に基づき、有事の事態から市民の生命・財産を守るため、防災情報伝達手段の確保や訓練などを実施するとともに、市民への啓発活動を推進する。※計画・予算・決算額は「②防災対策等の推進」の再掲。	さぬき市国民保護法に基づき、国・県・関係機関等が連携・協力して、迅速・的確に住民の避難や救援などが行うことができるようにする。	計画額	59,565	0	103,550	124,740	287,855	—	—
			当初予算額	57,957	620,800	6,933	46,164	731,854		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H27	さぬき市国民保護計画の修正に着手した。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	さぬき市国民保護計画の修正に向け見直しを行った。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.1	0.0
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28 具 体的 取 組	さぬき市国民保護計画の修正。 全国一斉訓練への参加。		計画額	3,669	0	270	33,000	36,939		
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額							
H29	さぬき市国民保護計画を適宜修正する。		計画額	3,669	0	270	32,500	36,439		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市国民保護計画を適宜修正する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	全国一斉訓練への参加回数	全国一斉訓練への参加回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	全国一斉訓練への参加人数	全国一斉訓練への参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	2	計画値	3	計画値	3	計画値	4
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	5点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく事業であり、市民の生命と安全を守る事業であるため貢献度は大きい。また、日頃から関係機関と連携協力し、不測の事態に対応できるようにしておく必要がある。						武力攻撃などの有事の際に市民の生命・財産を守るため、国民保護に関する啓発を推進する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防犯環境整備事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市防犯灯設置要綱に基づいて、自治会長から申請のあった防犯灯の新設や修繕に対応する。	歩行者の安全性を確保するとともに犯罪の起こりにくい環境の整備を進める事業である。	計画額	0	0	0	91,278	91,278	—	—
			当初予算額	0	0	0	45,444	45,444		
			決算額	0	0	0	21,373	21,373		
H27	○防犯灯修理 ○防犯灯新設	○防犯灯のLED化を進めた。	計画額	0	0	0	22,610	22,610	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,610	22,610		
			決算額	0	0	0	21,373	21,373		
H28	○防犯灯修理 ○防犯灯新設		計画額	0	0	0	22,610	22,610		
			当初予算額	0	0	0	22,834	22,834		
			決算額							
H29	○防犯灯修理 ○防犯灯新設		計画額	0	0	0	23,029	23,029		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○防犯灯修理 ○防犯灯新設		計画額	0	0	0	23,029	23,029		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	防犯灯新設件数	防犯灯を新設した件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	12	実績値		実績値		実績値	
活動指標	防犯灯修繕件数	防犯灯の球交換、器具の取り換え等の修繕を行う件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	600	計画値	600	計画値	600	計画値	600
					実績値	553	実績値		実績値		実績値	
成果指標	刑法犯認知件数	香川県警察本部によって犯罪の発生が認知された件数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	390	計画値	380	計画値	370	計画値	360
					実績値	345	実績値		実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	電気代の負担が少なく照度が高いLED化を、新設分、器具取替分から順次進めている。犯罪の発生件数は少ないが、犯罪の報告があることから、自治会と情報を共有し、犯罪防止に努める。						夜間の見通しが悪いために危険な個所があることから、歩行者の安全性を確保するとともに犯罪の起こりにくい環境の整備を進める。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防犯推進事業
-----	--------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	警察や市民と一体となって、安全・安心のまちづくりを推進する。	車上狙い、自転車盗、スリ、ひったくり等の街頭犯罪や高齢者を狙った詐欺事件が多発していることから犯罪のない住みよい社会をつくる事業である。	計画額	0	0	0	6,044	6,044	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,022	3,022		
			決算額	0	0	0	1,510	1,510		
H27	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担した。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進した。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施した。	○香川県警察本部から発令される犯罪警戒警報の通知に基づき注意喚起の音声告知放送を行った。 ○犯罪被害未然防止功労者に対して感謝状を贈り、報道を通じて犯罪防止気運を高めた。	計画額	0	0	0	1,511	1,511	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,511	1,511		
			決算額	0	0	0	1,510	1,510		
H28	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。		計画額	0	0	0	1,511	1,511		
			当初予算額	0	0	0	1,511	1,511		
			決算額							
H29	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。		計画額	0	0	0	1,511	1,511		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。		計画額	0	0	0	1,511	1,511		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	市広報紙掲載回数	さぬき市広報に防犯に関する記事を掲載した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	3	実績値		実績値		実績値		
成果指標	刑法犯認知件数(暦年)	市内における傷害や窃盗等、刑法犯の認知件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる。)。各種啓発活動や環境整備により、犯罪件数が減少すると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	390	計画値	380	計画値	370	計画値	360	
					実績値	345	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	高齢者が悪質な詐欺事件に巻き込まれる報告が多いことから、警察と連携し、銀行窓口やコンビニエンスストアにおいて不審な行動をする高齢者の注意喚起をお願いするとともに、連続して同様の手口の事件が発生する場合は音声告知放送等で広く注意を促している。地域の防犯協会や自治会と連携して、犯罪のない住みよい社会をつくる。						車上狙い、自転車盗、スリ、ひったくり等の街頭犯罪や高齢者を狙った詐欺事件が多発していることから犯罪のない住みよい社会をつくる必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	交通安全環境整備事業
-----	------------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	②	②交通安全対策の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	55	交通安全対策費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	交通安全設備(道路反射鏡、防護柵、区画線等)の新設及び修繕を行う。	交通事故等を防止するための交通環境の整備を図る事業である。	計画額	0	0	0	57,970	57,970	—	—
			当初予算額	0	0	0	34,465	34,465		
			決算額	0	0	0	16,001	16,001		
H27	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携	市民等からの設置要望に対し、道路や交通の状況を総合的に勘案し、関係機関と協議して適切な対策を実施するように努めた。	計画額	0	0	0	14,360	14,360	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	14,360	14,360		
			決算額	0	0	0	16,001	16,001		
H28	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携		計画額	0	0	0	14,360	14,360		
			当初予算額	0	0	0	20,105	20,105		
			決算額							
H29	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携		計画額	0	0	0	14,625	14,625		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携		計画額	0	0	0	14,625	14,625		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	交通安全施設整備箇所数	道路反射鏡、ガードレール等交通安全施設の新設及び修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	94	実績値		実績値		実績値	
成果指標	人身事故発生件数	香川県警察本部が公表する市内における交通事故の発生件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	380	計画値	370	計画値	360	計画値	350
					実績値	342	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点	5点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点				5点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点				5点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点				5点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	学校再編等に伴い、生徒等の通学路が大きく変わってきていることから、学校、地域、警察等各種機関と情報共有を図り危険な箇所を点検し、必要性の高いところから、ガードレールやカーブミラーの設置を進める。 老朽した交通安全施設の必要性を評価し、必要性のあるところについては順次更新する。						交通事故等を防止するための交通環境の整備を進める。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	交通安全推進事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	②	②交通安全対策の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	55	交通安全対策費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	交通指導員による街頭交通指導や交通安全キャンペーン、子どもや高齢者の自転車教室の開催等、各種交通安全活動を行い、交通事故防止を図る。また、高齢者の交通事故抑止策として、65歳以上の運転免許証自主返納者に対して商品券等を交付する支援を行う。	市民に交通ルールの遵守と交通マナーを習慣づけることにより、安全安心なまちづくりを目指す事業である。	計画額	0	0	4,000	29,810	33,810	—	—
			当初予算額	0	0	2,000	14,624	16,624		
			決算額	0	0	920	7,019	7,939		
H27	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレード・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業	○さぬき警察署等関係機関と連携し、子供や高齢者を対象とした交通安全教室や交通キャンペーンを実施した。 ○重大な事故発生時は、注意喚起の音声告知放送を行った。	計画額	0	0	1,000	7,154	8,154	0.7	0.0
			当初予算額	0	0	1,000	7,154	8,154		
			決算額	0	0	920	7,019	7,939		
H28	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレード・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業		計画額	0	0	1,000	7,514	8,514		
			当初予算額	0	0	1,000	7,470	8,470		
			決算額							
H29	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレード・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業		計画額	0	0	1,000	7,571	8,571		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレード・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業		計画額	0	0	1,000	7,571	8,571		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	交通指導員出動回数	交通教室・交通キャンペーン等に交通指導員が参加する件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	60
					実績値	31	実績値		実績値		実績値	
成果指標	人身事故発生件数(暦年)	市内における交通人身事故発生件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる) 各種啓発活動や環境整備により、交通事故件数が減少すると考えられる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	380	計画値	370	計画値	360	計画値	350
					実績値	380	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	交通事故発生件数は減少傾向にあるが、大切な命が奪われる死亡事故が発生していることから、警察、交通安全協会、交通安全母の会、安全運転管理者協議会等各種機関と交通事故が発生しない環境づくりに努める。						市民が交通事故に遭わず、安全で安心な生活ができるように交通安全対策を実施する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防疫事業
-----	------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	③	③ 消費者行政の推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 飲食に起因する感染症、食中毒等の危害の防止等に必要 な活動を行い、公衆衛生の向上及び増進に資する団体に対し補 助を行う。	安全で衛生的な食品を提供するた め、飲食に起因する感染症、食中毒 等の危害の防止等に必要活動を行 い、公衆衛生の向上及び増進を図る 事業である。	計画額	0	0	0	756	756	—	—
			当初予算額	0	0	0	378	378		
			決算額	0	0	0	189	189		
H27	飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を 行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生 同業組合)を支援した。	東讃食品衛生協会、香川県飲食業生 活衛生同業組合に対して補助金を交 付した。	計画額	0	0	0	189	189	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	189	189		
			決算額	0	0	0	189	189		
H28	具体的取組 飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を 行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生 同業組合)を支援する。		計画額	0	0	0	189	189		
			当初予算額	0	0	0	189	189		
			決算額							
H29		飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を 行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生 同業組合)を支援する。	計画額	0	0	0	189	189		
			当初予算額							
			決算額							
H30		飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を 行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生 同業組合)を支援する。	計画額	0	0	0	189	189		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	補助金の額	公衆衛生の向上及び増進に資する団体に対する補助金	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	195	計画値	195	計画値	195	計画値	195
					実績値	195	実績値		実績値		実績値	
成果指標	食中毒の発生件数	香川県が公表する食中毒の発生件数 食中毒の発生状況(香川県食の安全安心ホームページ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点	5点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点				5点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点				5点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点				5点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	地球温暖化に伴い、食中毒等の発生しやすい環境になっていることから、関係機関と情報共有を図り、公衆衛生の向上を推進する。						飲食に起因する感染症、食中毒の危害の防止等に必要な研修会の開催等必要な活動を行い、公衆衛生の向上及び増進に資する団体と連携した活動を実施することは重要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	商工業振興事業②(消費者行政関係)
-----	-------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	③	③ 消費者行政の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 商工業の振興・地域社会の発展と活性化に寄与するため、安心・安全な消費生活に繋がるような情報提供等に努める。	消費者からの相談窓口を開設し、市民の消費生活の安全に寄与する。消費生活の向上を目的に、消費生活問題について研修や講演会等の活動を後押しするため、さぬき市消費者団体連絡協議会に補助金を交付する。	計画額	0	0	0	720	720	—	—
			当初予算額	0	0	0	360	360		
			決算額	0	0	0	180	180		
H27	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等	詐欺が疑われる消費者相談には音声告知放送で市民に注意喚起した。さぬき市消費者団体連絡協議会は、エネルギー問題、地産地消、食品表示等幅広く学び、地域の消費者の見識を広げる活動を行った。	計画額	0	0	0	180	180	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額	0	0	0	180	180		
H28	具体的取組 ・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等		計画額	0	0	0	180	180		
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額							
H29	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等		計画額	0	0	0	180	180		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等		計画額	0	0	0	180	180		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	一般消費者啓発活動	市民の消費生活の安全と向上を目指し、さぬき市消費者団体連絡協議会会員が一般消費者に向けてチラシ配布や啓発活動を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 4	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	
	研修、講習会等参加	市民の消費生活の安全と向上を目指して、研修や講演会に参加することで消費者としての知恵を身につける。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 20	実績値 42	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値	
成果指標	消費者相談件数	窓口、電話、メール等で市内から寄せられた相談の件数を指標とする。被害の防止と発生後に適切な対応を行うため、消費生活センター等と連携し、気軽に相談できる体制をつくるため、件数は増加すると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 30	実績値 10	計画値 30	実績値	計画値 30	実績値	計画値 30	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	市民の消費生活の安全と向上を目的に市民への啓発活動を行うことを後押しする方向性を維持したいと思います。地域の消費者団体が学ぶ場を後押しすることにより、消費者団体から一般消費者へ啓発活動を直接行ったり知識を共有することが望めるだけでなく、消費者団体が企業をチェックしたり消費者目線からの意見をすることによって、一般消費者に幅広く利益が享受できると思われま。						市内の消費者の安全、安心の暮らしのため、さぬき市消費者団体連絡協議会に補助金を交付した。協議会会員が学習し地域の消費者の見識を広めると共に、地域住民の一人一人が、詐欺等に関わらないためのPR活動を行い、被害者を出さないための活動を行った。						
理由	また、詐欺等の事案が発生した際に相談を受け付ける窓口を用意しておくことで、更なる被害が広がらないよう注意喚起等ができる体制は、市民生活の安全のために今後も必要であると思われま。												

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	土木管理事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	①市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	05	土木管理費
目	05	土木総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	概要 県管理の幹線道路、重要河川及び重要港湾の整備を促進し、市内各地へのアクセス向上や災害による被害低減を図るため、県が実施する市域内の県道、河川及び港湾の整備事業に要する経費の一部を関係法令に基づき負担する事業である。また、市道の未登記処理業務を地権者や関係者の要請等により実施する事業である。	県施行事業負担金は、県が実施する市内の県道、河川及び港湾の整備事業に要する経費の一部を関係法令に基づき負担する事業である。また未登記処理業務は、市道内に存する土地の未登記処理を目的とする。	計画額	0	125,900	0	78,947	204,847	—	—
			当初予算額	0	87,900	0	30,084	117,984		
			決算額	0	28,100	48	14,371	42,519		
H27	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務	県施行事業負担金は、事業内容の確認、事業費及び負担金が適正な金額かどうかを県担当者と密に連絡を取りながら、整備推進に努めた。未登記処理は、改良工事、境界確認時に地権者と協議し、処理の促進に努めた。	計画額	0	32,900	0	16,947	49,847	0.8	0.0
			当初予算額	0	32,900	0	16,947	49,847		
			決算額	0	28,100	48	14,371	42,519		
H28	具体的取組 県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務		計画額	0	31,000	0	20,000	51,000		
			当初予算額	0	55,000	0	13,137	68,137		
			決算額							
H29	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務		計画額	0	31,000	0	21,000	52,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務		計画額	0	31,000	0	21,000	52,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	対象事業件数	県施行負担金対象事業の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	19	計画値	18	計画値	18	計画値	13
					実績値	17	実績値		実績値		実績値	
	未登記相談件数	市道内に存する未登記箇所の相談件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	15	計画値	15	計画値	15	計画値	15
					実績値	19	実績値		実績値		実績値	
成果指標	市内の県道改良率	市内の県道改良済延長／市内の県道実延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	88	計画値	88	計画値	89	計画値	89
					実績値	88.4	実績値		実績値		実績値	
	未登記処理件数	市道内に存する未登記箇所の処理件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	15	計画値	15	計画値	15	計画値	15
					実績値	19	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	16点 ／25点	3点		17点 ／25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	県施工負担金については、法令に基づき負担金を払う必要がある。県施工負担金の支払いにより、市内県道・河川・港湾の整備促進に繋がり、有効である。今後も、県道・河川・港湾要望にあたり、要望順位を整理し、効率的に整備を行えるよう努めていく。未登記処理については、個人の所有権を侵害している場合があり、早急に処理する必要がある。未登記処理は、市道と民地等の境界が明確になるため、有効である。今後も、過去の経緯等から多くの未登記箇所が存在するため、工事等に併せ効率的に処理を行う必要がある。						県管理の道路・河川・港湾については、何れも市民が日常的に利用している施設であり、施設の新設改良等の整備事業を継続し、安定的に実施するため法令に基づき必要となるものである。市道として整備済みの道路等において、道路として認識されているが、市有地となっていない施設について、市が実施する道路改良事業等において、未登記部分が確認されたものについて、登記処理を行う必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成28年5月18日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	05	道路橋梁総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市道敷として借受けている土地の借上料である。また、市内の道路整備を促進するため、広報活動や国等への要望活動等を行うことを目的とする道路関係協会等への負担金である。	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進する。	計画額	0	0	0	3,557	3,557	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,817	1,817		
			決算額	0	0	0	866	866		
H27	土地借上料協会等負担金	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	計画額	0	0	0	869	869	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	896	896		
			決算額	0	0	0	866	866		
H28	土地借上料協会等負担金	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進する。	計画額	0	0	0	896	896		
			当初予算額	0	0	0	921	921		
			決算額							
H29	土地借上料協会等負担金		計画額	0	0	0	896	896		
			当初予算額							
			決算額							
H30	土地借上料協会等負担金		計画額	0	0	0	896	896		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	加入団体数	各種団体に加入している件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	14	計画値	14	計画値	14	計画値	14
					実績値	14	実績値		実績値		実績値	
成果指標	市道の県道改良率	市内の県道改良済延長／市内の県道実延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	88	計画値	88	計画値	89	計画値	89
					実績値	88.4	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 ／25点	4点	21点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
団体に加入することで、要望活動等が効率的に行えるため、今後も負担金の支払いは必須と考える。						市道として管理している道路内に含まれる、JR敷地の借上げは、市道の整備上必要なものである。各団体への加入は、道路・河川・砂防・港湾整備等に関する技術の研究や知識の習得、また国に対する予算要望等の円滑な推進を図るために必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁維持補修事業①(道路関係)
-----	-------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	①市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	10	道路橋梁維持費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市道を常に良好な状態に保ち、安全で快適な通行を確保するため、維持修繕工事等を実施するとともに、新たに市道認定された路線や改良等により幅員が変更になった路線の道路台帳補正業務を実施する。また、私道について、一定の基準を満たす場合、路面改修工事費(舗装・側溝)の一部を助成する私道整備助成事業を新たに実施する。	市道を常に良好な状態に保ち、安全で快適な通行を確保する。	計画額	133,500	83,600	32,370	417,675	667,145	—	—
			当初予算額	75,300	47,000	16,018	206,589	344,907		
			決算額	8,710	5,400	7,921	92,655	114,686		
H27	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=19.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)	募集広報等により、道路愛護協力団体が、前年度より2団体増え、除草延長も2,505m延ばすことができた。	計画額	33,300	20,700	8,070	97,075	159,145	1.5	0.3
			当初予算額	33,300	20,700	8,070	97,075	159,145		
			決算額	8,710	5,400	7,921	92,655	114,686		
H28	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=19.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)		計画額	39,000	24,300	8,100	103,800	175,200		
			当初予算額	42,000	26,300	7,948	109,514	185,762		
			決算額							
H29	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=19.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)		計画額	30,600	19,300	8,100	109,400	167,400		
			当初予算額							
			決算額							
H30	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=2.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)		計画額	30,600	19,300	8,100	107,400	165,400		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	道路維持修繕工事件数	市道維持修繕工事の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	30	計画値	34	計画値	32	計画値	32
					実績値	25	実績値		実績値		実績値	
活動 指標	道路愛護協力団体報奨金 制度広報件数	道路愛護協力団体報奨金制度の広報件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	3	実績値		実績値		実績値	
成果 指標	道路愛護協力団体報奨金 制度除草延長	道路愛護協力団体報奨金制度による除草延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m	計画値	95,000	計画値	95,500	計画値	95,500	計画値	95,500
					実績値	91,636	実績値		実績値		実績値	
成果 指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の 方向性 理由	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
市道は、便利な日常生活と活力ある産業活動を支えるために必要な基盤であり、今後増大する道路インフラの老朽化対策については、限られた財政状況の中で、計画的な整備が必要になっています。今後も、市道の修繕工事を計画的かつ効率的に推進するとともに、適正な維持管理に努めて、安全で快適な通行を確保していきます。また、道路愛護協力団体報奨金制度等によって、市民と協働して市道の維持管理を進めていきます。						市民が道路を安全に利用できるよう、市道の適正な維持管理を行うために必要な事業であり、今後とも限られた財源の中で、自治会の要望や地域のバランスを考えながら、緊急度・重要度を踏まえ、道路の維持修繕工事を実施するとともに、老朽箇所や不良箇所の早期発見に努め、交通事故を未然に防止するために、事業を実施する必要がある。また、団地内道路等で市道となっていない、私道について舗装整備等の助成を行うことにより、住環境の整備を促進するものである。また、管理延長が長く市単独での管理に限界のある市道の草刈について、道路愛護協力団体に協力を頂きながら、市道の維持管理を行うものである。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁新設改良事業(職員給与費除く)
-----	---------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	15	道路橋梁新設改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 交通の安全と円滑化や防災空間を確保し、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図るため、市内幹線道路等の新設改良及び舗装整備を実施する事業である。	交通の安全と円滑化や防災空間を確保し、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。	計画額	203,480	777,400	0	66,330	1,047,210	—	—
			当初予算額	118,100	448,250	0	27,130	593,480		
			決算額	41,885	136,900	0	8,594	187,379		
H27	狭小な道路の拡幅及び退避場整備、急カーブなどの危険箇所の局部改良、公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良、増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行った。	現場条件に合わせ最大限に効果が得られる施工方法等を検討し、コストの削減を図ることで、整備の進捗率を高めるよう努めた。	計画額	64,880	216,400	0	13,330	294,610	1.6	0.0
			当初予算額	64,880	216,400	0	13,330	294,610		
			決算額	41,885	136,900	0	8,594	187,379		
H28	具体的取組 狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。 急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。 公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。 増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	59,300	201,100	0	18,400	278,800		
			当初予算額	53,220	231,850	0	13,800	298,870		
			決算額							
H29	狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。 急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。 公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。 増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	38,000	182,000	0	17,400	237,400		
			当初予算額							
			決算額							
H30	狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。 急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。 公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。 増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	41,300	177,900	0	17,200	236,400		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	道路改良工事件数	市道改良工事の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	33	計画値	32	計画値	32	計画値	32	
					実績値	26	実績値		実績値		実績値		
成果指標	市道における改良率	市道実延長に対する道路改良済延長の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	70.25	計画値	70.34	計画値	70.43	計画値	70.51	
					実績値	70.83	実績値		実績値		実績値		
	道路における歩道設置率	市道実延長に対する歩道設置済延長の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	4.00	計画値	4.02	計画値	4.02	計画値	4.02	
					実績値	4.02	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	市道整備については、市の予算、国や県補助金の配分割合、用地協力等の問題により、着手や完了までに時間を要している箇所もあるのが課題となっています。今後も、幹線道路から身近な生活道路に至るまで、市道路網の整備を計画的かつ効率的に推進するとともに、道路を利用するすべての人が、安全で快適に通行できる交通環境を実現するため、各地域の状況を踏まえて、交通安全施設や歩道の整備も検討していきます。						市道整備として、幹線道路については公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図り、生活道路については、車両や歩行者が円滑に移動できるよう狭小な箇所での拡幅や舗装の改修等の道路整備を行うことで、快適な道路環境の整備を目的とし道路の新設・改良事業を行うものであるが、国や県補助金の配分割合が減少するなか、緊急度・重要度を勘案しながら道路の整備を進めて行く必要がある事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	狭あい道路拡幅整備事業
-----	-------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成28年5月17日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	15	道路橋梁新設改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 建築基準法に基づく用地の後退等に伴い、狭あい道路であるさぬき市道等の拡幅及び後退用地の整備の申出のあったものに対して、後退用地に係る測量、分筆及び所有権移転登記に要する費用を負担し、舗装等の工事を行い、後退用地を道路として整備する。なお後退用地は寄附としている。	建築基準法上に基づく、後退用地を道路として整備することで住民の安全で快適な生活の確保を目指す。	計画額	0	0	0	18,300	18,300	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,055	8,055		
			決算額	0	0	0	702	702		
H27	申請予定件数4件 狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。	H28年度の申請件数の増加を目指し、広報及び、ホームページに事業の掲載を行い、周知に努めた。	計画額	0	0	0	4,500	4,500	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,500	4,500		
			決算額	0	0	0	702	702		
H28	具体的取組 狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。		計画額	0	0	0	4,600	4,600		
			当初予算額	0	0	0	3,555	3,555		
			決算額							
H29	狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。		計画額	0	0	0	4,600	4,600		
			当初予算額							
			決算額							
H30	狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。		計画額	0	0	0	4,600	4,600		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	広報回数	狭あい道路整備事業の広報回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	実施件数	狭あい道路整備事業の実施件数	<input type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	4	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 /25点	3点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由 建築基準法に基づく後退用地の整備により、狭小な道が拡幅され、市民の安全で快適な生活に寄与できる事業である。建築基準法上において、建築主事の設置要件が人口25万人以上の市となっており、さぬき市に建築主事がないこと、近年、民間業者の建築確認が増えていることなどが、事業の認知が進んでいない理由の一つである。今後民間業者への周知及び、広報への掲載を行うことで、周知を図っていく必要がある。						理由 住宅の密集地等道路幅員が狭く、歩行者及び車両の通行に支障のある路線について、安全性の向上を図るとともに、災害時の避難や緊急活動など、防災性の向上にも寄与するものであり、地域住民の協力得ることにより、住環境の整備を図る事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁維持補修事業②(橋梁関係)
-----	-------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	②	② 橋梁の長寿命化

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	10	道路橋梁維持費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)	
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 橋梁について、これまでの対症療法的な対応から予防的で計画的な対応で施設の延命化、改築更新費用の平準化を図ることで、道路交通の安全性を確保し、橋梁施設の機能を安定的に確保するよう、5年毎にすべての管理橋梁を点検し、橋梁長寿命化修繕計画の策定を行い、修繕工事を実施する。	道路交通の安全性を確保しながら、コストの縮減を図るため、対症療法的な対応から予防的で計画的な対応で、橋梁の長寿命化を図る事業である。	計画額	175,300	92,200	0	29,000	296,500	—	—
			当初予算額	80,900	40,300	0	17,070	138,270		
			決算額	32,655	15,600	0	8,996	57,251		
H27	道路橋梁修繕事業 橋梁点検、長寿命化修繕工事	橋梁点検において、期間業務職員を雇用し、小規模橋梁を職員自ら点検することによって、委託経費の削減を行った。	計画額	35,900	23,200	0	1,900	61,000	0.4	0.7
			当初予算額	35,900	23,200	0	1,900	61,000		
			決算額	32,655	15,600	0	8,996	57,251		
H28	道路橋梁修繕事業 橋梁点検、橋梁長寿命化修繕計画の策定、長寿命化修繕工事		計画額	51,000	22,800	0	12,200	86,000		
			当初予算額	45,000	17,100	0	15,170	77,270		
			決算額							
H29	道路橋梁修繕事業 橋梁点検、長寿命化修繕工事		計画額	48,800	23,100	0	10,500	82,400		
			当初予算額							
			決算額							
H30	道路橋梁修繕事業 橋梁長寿命化修繕計画の策定、長寿命化修繕工事		計画額	39,600	23,100	0	4,400	67,100		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	橋梁点検数	直営点検と委託点検を合計した点検橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	橋	計画値 211	実績値 218	計画値 130	実績値	計画値 87	実績値	計画値 87	実績値	
	修繕橋梁数	橋梁修繕工事において、修繕及び更新を行った橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	橋	計画値 5	実績値 1	計画値 3	実績値	計画値 4	実績値	計画値 4	実績値	
成果指標	健全橋梁割合	橋梁点検において、判定区分Ⅰ及びⅡの橋梁数+修繕橋梁数/点検橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 98	実績値 97.7	計画値 98	実績値	計画値 99	実績値	計画値 99	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点		21点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
方向性						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
今後の方向性						理由							
平成26年7月から地方自治体が管理するすべての橋梁に対して、5年に1回の近接目視による点検が義務化された。そのため、今後も継続して、老朽化の進行状況を把握し、長寿命化修繕計画の見直しをかけながら、修繕または更新を順次行っていく必要がある。						市道として管理している515橋について、従来の事後的な壊れてから修繕を行う方式から、予防的に橋梁点検を年次計画により行い、危険箇所を早期に発見し、危険度の高い箇所より修繕工事を実施することにより、橋梁の落下事故等を防止するとともに、橋梁の長寿命化を図ること、トータルコストの削減につなげる事業である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	河川事業
-----	------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	③	③河川の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	15	河川費
目	05	河川総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	洪水時の氾濫を防止するため、河川の維持修繕工事を実施するほか、台風時などの浸水被害を防止するため、雨水排水ポンプ等の維持管理及び改良工事を実施する事業である。また、治水・利水に大きな役割を果たしている市内3ダムの維持管理に要する経費の一部を決められた率により県へ負担する事業である。	近年多発しているゲリラ豪雨や台風による大雨に備え、河川の維持修繕工事、ポンプ場施設等の修繕、改良及び増設工事を行う事業である。	計画額	0	414,400	25,609	209,101	649,110	—	—
			当初予算額	0	410,300	25,322	108,530	544,152		
			決算額	0	158,200	12,430	45,670	216,300		
H27	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 浦小田雨水排水ポンプ場改良工事、室沖ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/4	老朽化で機能低下しているポンプ場の修繕や能力不足によるポンプの増設工事を行い、適切な機能・能力のポンプ場を整備した。ポンプの運転方法を自家発電機とすることで、維持管理費の節減に努めた。	計画額	0	276,400	17,609	47,101	341,110	1.4	0.0
			当初予算額	0	276,400	17,609	47,101	341,110		
			決算額	0	158,200	12,430	45,670	216,300		
H28 具体的取組	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 白方ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/5		計画額	0	114,000	6,000	60,000	180,000		
			当初予算額	0	133,900	7,713	61,429	203,042		
			決算額							
H29	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/6		計画額	0	24,000	2,000	51,000	77,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/7		計画額	0	0	0	51,000	51,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		
活動指標	河川維持工事件数	河川の維持修繕工事件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	5	計画値	5	計画値	5		
	雨水ポンプ場事業数	雨水排水ポンプの修繕・改修・増設工事数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		事業	計画値	6	計画値	7	計画値	6	計画値	6	
成果指標	ポンプ場排水区域での浸水被害件数	河川整備やポンプ場整備が完了した区域での浸水被害件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件		計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略			計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)			二次評価(所属長)					
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	河川・ポンプ場施設整備は、豪雨・台風時に住宅への浸水を防ぐ重要な施設である。今後とも計画的な投資により、ポンプ場施設等の適正な管理・更新を図り、施設の機能を維持する必要がある。					台風や豪雨に伴う高潮時の河川の氾濫を防止するため、雨水を排出するポンプの整備を計画的に行うと共に、河川の決壊を防止するための維持改良工事の実施、また治水・利水に利用される市内ダムの維持管理経費の一部を負担することで、大雨による住宅地域への浸水を防止し、また河川水を有効に活用するために行う事業である。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	港湾管理事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	④	④ 港湾の維持・管理

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	20	港湾費
目	05	港湾管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 瀬戸内海沿岸の環境保全・美化を図るため、港湾施設及び海岸施設の維持管理を実施するほか、港湾の適正な利用を確保するため、小型船舶用泊地の使用許可事務及び使用料徴収事務を県からの権限移譲により実施する事業である。	港湾の適正な利用を確保するため、香川県が作成したマニュアルに基づき、小型船舶の所有者に対し、使用許可及び使用料の徴収を行うものである。	計画額	6,186	0	22,278	668	29,132	—	—
			当初予算額	2,915	0	10,628	356	13,899		
			決算額	1,340	0	4,888	0	6,228		
H27	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務	港湾内において、泊地の巡回を実施し、施設未申請者及び使用料未納者に対して、督促などによる適正な施設使用を則した。	計画額	1,532	0	5,515	111	7,158	0.3	0.0
			当初予算額	1,532	0	5,515	111	7,158		
			決算額	1,340	0	4,888	0	6,228		
H28	具体的取組 緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務		計画額	1,550	0	5,555	153	7,258		
			当初予算額	1,383	0	5,113	245	6,741		
			決算額							
H29	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務		計画額	1,552	0	5,604	202	7,358		
			当初予算額							
			決算額							
H30	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務		計画額	1,552	0	5,604	202	7,358		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	船舶数	津田港及び志度港に係留しているプレジャーボートの船舶数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	隻	計画値	110	計画値	110	計画値	110	計画値	110
					実績値	101	実績値		実績値		実績値	
成果指標	収納率	収入金額／調定金額×100	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	100	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い				3点	18点 ／25点	3点	18点 ／25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている			3点	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い			4点	4点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない			4点	4点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない			4点	4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	瀬戸内海の海岸と海域を美しく保つために、市と地元で毎年行っている海岸清掃活動を、地元住民だけでなく市民全体が参加できるよう、CATV等の啓発活動により幅広く周知し、美化意識向上につながるよう努めていきたい。また、港湾管理については港湾の巡回を実施し、不法係留がないよう適正な施設管理をしていくこととする。						港湾の適正な利用を確保するため、小型船舶用泊地の使用許可事務及び使用料徴収事務を県からの権限移譲により実施する事業である。また、瀬戸内の海岸の環境保全のため行う、海岸清掃は市民によるボランティア活動として毎年実施している事業である。何れの事業も海岸や港湾施設の保全を行うために必要な事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	港湾建設事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	④	④ 港湾の維持・管理

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	20	港湾費
目	10	港湾建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 県が策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、さぬき市が管理する志度港の地震・津波対策整備事業を実施するものである。	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、さぬき市が管理する志度港において地震津波対策整備をすることで市民の生命と財産を守る。	計画額	237,600	184,500	0	9,900	432,000	—	—
			当初予算額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 測量試験及び地質調査 志度港全体延長 L=420m		計画額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			当初予算額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			決算額							
H29	港湾建設事業 主な工事内容 ①既設海岸堤防等の嵩上 ②海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設 ③海岸堤防等基礎部の地盤改良		計画額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	港湾建設事業 主な工事内容 ①既設海岸堤防等の嵩上 ②海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設 ③海岸堤防等基礎部の地盤改良		計画額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	整備延長	海岸堤防等の嵩上、海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設・地盤改良	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m	計画値	-	計画値	0	計画値	140	計画値	140	
					実績値	-	実績値		実績値		実績値		
成果指標	整備率	完成した延長/整備の必要な延長×100	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	-	計画値	0	計画値	100	計画値	100	
					実績値	-	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ● 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成27年に香川県が策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」により地震津波対策の優先順位が定められており、さぬき市が管理する志度港は、I期(前期・後期)に整備するようになっている。そのため、地元関係者と協議をしながら、28年度には地質調査等を実施し、その結果をもとに29年度より順次、地震津波対策の工事の早期整備を目指す。						香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画が策定され、対策の必要な優先順位が定められたことから、さぬき市の管理港湾施設である志度港の堤防等について、平成28年度には測量試験や地質調査を行い、翌年度から地震・津波対策工事を実施することにより、市民の生命、財産等に及ぼす被害を低減するために実施する事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生活環境整備事業
-----	----------

担当課	管財課
-----	-----

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	⑤	⑤生活環境整備事業の継続

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	65	地方振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 自治会からの要望により、市民の生活環境向上を図るための生活道路・排水路等の整備工事を行う。	市民の生活環境向上を図るための整備工事を行う事業である。	計画額	0	0	0	80,400	80,400	—	—
			当初予算額	0	0	0	50,100	50,100		
			決算額	0	0	0	19,704	19,704		
H27	○工事の実施設計業務の委託(5件) ○整備工事(23件) (うち、舗装整備工事(16件)、安全施設整備工事(2件)、水路整備工事(3件)、その他修繕工事(2件))	工事箇所の施工開始時期を早め、早期竣工を目指した。	計画額	0	0	0	20,100	20,100	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	20,100	20,100		
			決算額	0	0	0	19,704	19,704		
H28	具体的取組 工事の実施設計業務の委託 整備工事を予定		計画額	0	0	0	20,100	20,100		
			当初予算額	0	0	0	30,000	30,000		
			決算額							
H29	工事の実施設計業務の委託 整備工事を予定		計画額	0	0	0	20,100	20,100		
			当初予算額							
			決算額							
H30	工事の実施設計業務の委託 整備工事を予定		計画額	0	0	0	20,100	20,100		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	要望を受け、現地確認回数	要望を受け、現地確認をした回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	22	計画値	20	計画値	20	計画値	20
					実績値	22	実績値		実績値		実績値	
成果指標	実施件数	実施可能であると回答した要望の内、実施した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	40	計画値	37	計画値	20	計画値	20
					実績値	23	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	本事業は、市が所有する法定外財産の修繕等を行うものであり、他事業での採択が困難であるものを実施していることから、市民の生活環境向上を図っていくうえにおいて必要な事業であると考えています。						当該事業は、他事業に属さない案件を実施するため、市民の生活に密着し地域環境の向上を目的に平成17年度から発足した事業である。本事業では地元負担金を求めているが、他には負担金を求める類似事業もあることから、不公平が生じている感も否めない。最近では、当該事業の存在が市民に広まったこともあり、要望件数も多くなってきていることから、今後、他事業に属さない案件かどうか精査し本来の目的に沿って事業を実施したい。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	コミュニティバス事業
-----	------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	①	①誰もが利用し得る利便性の高い公共交通手段の提供

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	65	地方振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 交通不便地域の解消はもとより、市民の安全で快適な暮らしのための身近な交通手段として、地域密着型公共交通システムの提供を行う。市内交通事業者と連携し、現在5ルート(バス3ルート、ジャンボタクシー2ルート)を運行している。	高齢者を始めとする交通弱者に安全で快適な公共交通の提供。市内観光客の交通の軸として魅力ある路線の創造。また、より便利で身近な公共交通を目指し、利用者の要望に沿った路線開拓を実施する。	計画額	30,400	0	52,606	161,250	244,256	—	—
			当初予算額	15,200	0	27,206	82,650	125,056		
			決算額	7,706	0	13,723	40,750	62,179		
H27	さぬき市コミュニティバスの運行及び施設の維持管理等を実施した。 ※平成24年2月にダイヤ改正及び運行車両等の見直しを実施。また、同年4月より、志度～多和線において休日運賃の改定(200円→500円)を行うなど、経営の効率化及び収支改善等を図っている。	さぬき市コミュニティバスの運行及びバス停施設等の維持管理を行った。また、利用促進を目的とした広報・啓発活動を実施した。 ・広報紙を利用した利用促進 年2回	計画額	7,600	0	13,606	41,250	62,456	0.6	0.0
			当初予算額	7,600	0	13,606	41,250	62,456		
			決算額	7,706	0	13,723	40,750	62,179		
H28	具体的取組 鉄道や路線バス等の公共交通機関との接続や利便性の向上に向けて、ルート・ダイヤ編成の検討を行う。		計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600		
			当初予算額	7,600	0	13,600	41,400	62,600		
			決算額							
H29	鉄道や路線バス等の公共交通機関との接続や利便性の向上に向けて、ルート・ダイヤ編成の検討を行う。		計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600		
			当初予算額							
			決算額							
H30	鉄道や路線バス等の公共交通機関との接続や利便性の向上に向けて、ルート・ダイヤ編成の検討を行う。		計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	利用促進啓発回数	コミュニティバスの利用促進に向けた広報紙への掲載回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	コミュニティバス	コミュニティバス年間利用者数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	93,541	実績値		実績値		実績値		
	利用者数 コミュニティバス収支比率	コミュニティバス運行に係る収入と経費の比率		<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	22	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	16点 /25点	4点		16点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	交通弱者が安心・快適に生活するため、市民ニーズを踏まえ、より効果的、効率的なコミュニティバスの運行形態・路線形態及び交通結節点の検討を図る。						市民の暮らしを支える、安心・快適なまちづくりのため、交通手段の確保として、コミュニティバスの効果的、効率的な運用を市民ニーズを踏まえながら検討する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公共交通検討協議会運営事業
-----	---------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	65	地方振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 平成22年度に設置された「さぬき市公共交通検討協議会」の運営及び公共交通利用促進啓発資料の作成・配布する。既存公共交通機関利用者満足度アンケート調査の実施する。	地域公共交通の確保・維持・改善に関する検討の場として、平成22年度に設置された「さぬき市公共交通検討協議会」の運営を行う。	計画額	0	0	0	200	200	—	—
			当初予算額	0	0	0	100	100		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	利用促進や周知に必要なグッズの拡充を図るため、冊子型時刻表(バスブック)を増刷し、支所や市内のJR・琴電等での配布を行ったほか、事業の終了に向けた検討作業を実施した。※時刻表増刷にかかる経費は協議会が負担したため、市負担経費は生じなかった。	公共交通の利用促進を目的に作成した冊子型時刻表(バスブック:コミュニティバスダイヤの他、病院情報などを盛り込む)が好評であったため、協議会で増刷を行った。	計画額	0	0	0	200	200	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	100	100		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	事業終了		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	会議のあり方を見直す検討回数	本会議の統合や重複する活動の統合整理に向けた、関係各課との検討協議回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	冊子型時刻表の配布部数	冊子型時刻表の配布部数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	冊	計画値	50	計画値	-	計画値	-	計画値	-
					実績値	50	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		1点	9点 /25点	1点	9点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		1点		1点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		1点		1点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		1点		1点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	本会議の設立目的及び事業目的が、道路運送法の規定に基づく「さぬき市地域公共交通会議」と重複していることや、設立の目的の一つである「生活交通ネットワーク計画(平成23年)」の策定作業と、運行方法も含めたコミュニティバス事業の見直し作業が終結していること、さらに主要な活動内容が、さぬき市コミュニティバス利用啓発活動に集約されつつある現状を踏まえ、統合廃止も視野に入れた抜本的見直しが必要である。						設立の目的であった「生活交通ネットワーク計画(平成23年)」の策定作業が終結していることと、「さぬき市地域公共交通会議」における検討内容が重複していることから、今後統合廃止も視野に入れた検討を行う。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	バスストップ駐車場管理事業
-----	---------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 高松自動車道高速志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理等を行う。	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に維持管理を行う。 なお、平成25年度においては、バスストップ駐車場の利用者等を対象とした利用実態調査等を実施し、拡充について検討する。	計画額	0	0	1,120	85,510	86,630	—	—
			当初予算額	0	75,000	560	8,110	83,670		
			決算額	0	0	267	2,261	2,528		
H27	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を実施した。 平成25年度に策定した志度バスストップ駐車場における整備計画(案)に基づき、駐車場整備の基本計画策定業務を実施した。	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に維持管理を行った。 志度バスストップ駐車場の拡充検討として、全体測量業務を実施した。	計画額	0	0	280	2,908	3,188	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	280	2,908	3,188		
			決算額	0	0	267	2,261	2,528		
H28	具体的取組 バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行っている。 志度バスストップ駐車場整備基本計画により用地取得及び駐車場整備工事を実施。また、津田バスストップ駐車場における整備計画(案)に基づき、駐車場整備の基本計画策定業務を実施。		計画額	0	0	280	80,202	80,482		
			当初予算額	0	75,000	280	5,202	80,482		
			決算額							
H29	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行っている。		計画額	0	0	280	1,200	1,480		
			当初予算額							
			決算額							
H30	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行っている。		計画額	0	0	280	1,200	1,480		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	施設点検回数	利用者が安心して駐車場を利用できるように点検、清掃、草刈りの回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 24	実績値 24	計画値 24	実績値	計画値 24	実績値	計画値 24	実績値	
	放置自転車の撤去実施回数	バスストップに放置してある自転車の撤去実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	志度バスストップ駐車場利用率	志度バスストップの駐車場(50台:臨時駐車場25台含む)の利用率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 90	実績値 90	計画値 90	実績値	計画値 90	実績値	計画値 90	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由						理由							
高松自動車道四車線化に伴い、高速バス利用者が増加すると思われるので、駐車場不足の解消のため拡充の整備と利用者が安心安全に利用して頂くため維持管理をする。						高松自動車道四車線化に伴い、高速バス利用者が増加が予測される。このため、駐車場不足を解消し、利用者が安全で安心して利用するため、駐車場の拡充整備及び維持管理を行う。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	JR駅関連施設管理事業
-----	-------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	②公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 JRの駅は、広域交通網におけるさぬき市の玄関口のひとつであり、特に志度駅はJRと維持管理協定を締結している。通勤・通学・通院などに利用する市民及び当市に来訪する観光客が快適かつ安全に利用できるように施設の維持管理等を行う。	JRの駅は、通勤・通学等に多くの市民が移動手段として利用しているため、駅利用者の利便性の確保・維持を目的に管理する事業である。	計画額	0	0	2,989	16,763	19,752	—	—
			当初予算額	0	0	1,217	8,163	9,380		
			決算額	0	0	194	4,540	4,734		
H27	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR志度駅自由通路、エレベーター内の防犯カメラシステム修繕	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に施設の清掃を行う。旧観光案内所を民間企業に貸与した。	計画額	0	0	886	4,115	5,001	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	886	4,115	5,001		
			決算額	0	0	194	4,540	4,734		
H28	具体的取組 駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR志度駅自由通路		計画額	0	0	331	4,048	4,379		
			当初予算額	0	0	331	4,048	4,379		
			決算額							
H29	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR志度駅自由通路		計画額	0	0	886	4,300	5,186		
			当初予算額							
			決算額							
H30	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(ふれあい通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR志度駅自由通路		計画額	0	0	886	4,300	5,186		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	志度駅清掃回数	利用者が安心して快適に利用できるよう駅周辺及びトイレ等の清掃回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 365	実績値 365	計画値 365	実績値	計画値 365	実績値	計画値 365	実績値	
	放置自転車撤去回数	利用環境の維持・向上を目的に、放置自転車等の撤去実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	
成果指標	JR・琴電志度駅利用者数	JR志度駅及び琴電志度駅の1日当たりの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 3,200	実績値 3,167	計画値 3,200	実績値	計画値 3,200	実績値	計画値 3,200	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	JR駅は鉄道とその他交通手段を繋ぐ、交通の結末点であり住宅や商店の集約、地域生活の拠点機能が形成されるなどの主要な公共施設である。利用者が安心して施設を利用できるよう点検を行い、また、旧観光案内所を民間企業に貸与し、駅の集客機能の利用により、市内の不動産情報や市の観光案内の情報発信元となる施設として利用している。						JR駅は、通勤・通学及び観光など地域生活の重要な拠点であり、安全で快適に利用できるよう施設の点検、清掃等を継続して維持管理をする。また、情報発信元としての活用を高めていく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	パーク・アンド・ライド駐車場管理事業
-----	--------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	パーク・アンド・ライド駐車場は、鉄道を利用して通勤・通学をする住民の利便性を確保するとともに、公共交通機関の利用促進・交通混雑の緩和・環境負荷の軽減を目的としている。津田中央駐車場は、近辺が地理的要因から駐車場確保が困難であり、近隣住民の駐車場需要の充足と付近での迷惑駐車削減を目的としている。これらの施設の維持管理を行う。	駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的にパーク・アンドライド駐車場及び津田町中央駐車場の維持管理を行う。	計画額	0	0	1,060	550	1,610	—	—
			当初予算額	0	0	530	0	530		
			決算額	0	0	251	0	251		
H27	駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 101台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台	平成27年度パーク・アンド・ライド利用台数は延39台、津田町中央駐車場の利用区画数は延40区画であった。年3回追加募集を、年1回新規募集を広報紙、ホームページ及び文字放送で広報・周知をした。	計画額	0	0	265	0	265	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	265	0	265		
			決算額	0	0	251	0	251		
H28	駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 101台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台		計画額	0	0	265	550	815		
			当初予算額	0	0	265	0	265		
			決算額							
H29	駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、パーク・アンド・ライド及び津田町中央駐車場の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場については、開設後14年であり、区画線の劣化が見られるため、駐車スペース区画線の消去、塗替え及び補修を行う。		計画額	0	0	265	0	265		
			当初予算額							
			決算額							
H30	駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 101台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台		計画額	0	0	265	0	265		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	駐車場利用向上のための周知回数	利用者数の向上を図るため、ホームページ等での周知回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	駐車場の利用率	駐車場施設の総区画数における使用許可・契約数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	台	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	39	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	3点	4点			
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	琴電駅周辺にパーク・アンド・ライドが整備されたことや、厳しい雇用情勢等により利用率が低下していることから、CATV・広報誌及びホームページ等での周知を行い、利用率向上に努める。また、不法駐車取り締まりについても、引き続き行う。また、駐車スペースが狭いことと、区画線の劣化が見られるため、駐車スペース区画線の消去、塗替え及び補修を行う。				利用者が安全に利用できるよう区画線の修繕を行い、安心して駐車できる環境を整備する。また、公共交通機関と連携し、多くの住民に周知する。(駅にパンフレット)							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	民間住宅耐震対策支援事業
-----	--------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国及び県の補助制度に基づき、既存住宅の耐震対策を実施する市民に対し補助金交付するものである。 市内にある、新耐震基準以前(S56.5.31)に建てられた民間住宅の耐震対策(耐震診断、改修工事等)を実施する所有者に、費用の一部を補助する。	地震に対する既存住宅の耐震性の向上を図り、市民の安全を確保することを目的とする。	計画額	33,932	0	0	12,868	46,800	—	—
			当初予算額	17,491	0	0	6,609	24,100		
			決算額	3,133	0	0	1,097	4,230		
H27	耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:事業費限度額1,800千円補助金限度額900千円 次年度にむけて、耐震改修工事:補助率の廃止(補助上限金額900千円)及び補助対象工事の追加(部分改修工事、耐震シェルター等設置工事)を行った。	耐震対策の推進にむけて、国及び県の方針を踏まえ、補助内容の拡充を行った。	計画額	8,483	0	0	3,217	11,700	0.3	0.0
			当初予算額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			決算額	3,133	0	0	1,097	4,230		
H28	具体的取組 補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行う。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円		計画額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			当初予算額	9,008	0	0	3,392	12,400		
			決算額							
H29	補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行う。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円		計画額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			当初予算額							
			決算額							
H30	補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行う。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円		計画額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助制度周知啓発事業数	さぬき市及びさぬき市内で開催される啓発事業数 (広報活動、個別訪問活動、相談会開催活動)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	3	実績値		実績値		実績値		
成果指標	民間住宅耐震対策支援補助金補助件数 (耐震診断)	耐震対策のうち、耐震診断調査にかかる補助金支給 件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50	
					実績値	9	実績値		実績値		実績値		
	民間住宅耐震対策支援補助金補助件数 (耐震対策工事)	耐震対策のうち、耐震対策工事(耐震改修工事、部分 耐震改修工事・耐震シェルター・ベッド)にかかる補助 金支給件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8	
					実績値	4	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性理由	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	本事業は、地震に対する既存住宅の耐震性の向上を図り、市民の安全を確保することを目的としているが、住宅耐震性能に関する住民の関心度合いや、改修工事に必要な自己資金の確保など、所有者の様々な要因により、必ずしも活動指標が、直接的に成果につながっていない現状がある。 今後は、平成28年度から拡充された補助項目をもとに、周知・啓発に努めながら、事業規模の維持を図る必要がある。						市民が安全で安心して生活していくために既存住宅の耐震は、必要であるが、耐震に関する関心や改修工事に必要な自己資金の確保から、直接的な成果につながっていないため、周知・啓発を推進する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	緊急輸送道路沿道建築物等耐震対策支援事業
-----	----------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保するため、緊急輸送道路沿道及び避難路沿道の建築物の耐震対策を実施する者に対し、国及び県の補助制度に基づき補助金を交付する。	地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保する。	計画額	15,736	0	0	5,248	20,984	—	—
			当初予算額	9,252	0	0	3,086	12,338		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助する。	国費及び県費の補助拡充に基づき、補助限度額算定基準を改定し、補助に向けた準備を整えた。	計画額	3,934	0	0	1,312	5,246	0.1	0.0
			当初予算額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助する。		計画額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			当初予算額	5,318	0	0	1,774	7,092		
			決算額							
H29	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助する。		計画額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			当初予算額							
			決算額							
H30	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助する。		計画額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助制度周知啓発事業数	さぬき市及びさぬき市内で開催される啓発事業数 (広報活動、個別訪問活動、)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値		実績値		実績値		
成果指標	緊急輸送道路沿道建築物 等耐震対策支援事業補助 件数	耐震対策(診断・設計・改修工事)にかかる補助金支 給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点	20点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2点				2点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点				5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本事業は、地震時および災害復旧時における、緊急輸送道路の閉塞回避、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保するための施策の一つである。 耐震診断から改修工事まで複数の補助項目が制度に盛り込まれているが、制度活用においては、多くの自己資金も必要な内容となっている。 本補助制度の目的や趣旨を当該建築物所有者に対し伝えながら、実情に応じた制度拡充及び継続を国・県に引き続き要望することが重要である。						地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送などを確保するため、該当建築物の所有者に対し、引き続き制度の目的・趣旨を説明・周知を行う。 また、国・県に対し制度の拡充・継続を要望する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅リフォーム支援事業①(一般住宅関係)
-----	----------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 住宅リフォーム支援事業については、市民の生活環境の向上及び定住促進、地域経済対策として市内産業の活性化を図るために、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事を自己以外の市内事業者の施工により行う者に対し、その支援を行うためさぬき市共通商品券を交付する。	市民の生活環境の向上と定住促進及び地域経済の活性化を図るため、自己以外の市内の施工業者を利用して、個人住宅の修繕、補修、増築などのリフォームを行った者に対して、さぬき市共通商品券を交付する。	計画額	2,000	0	0	62,150	64,150	—	—
			当初予算額	0	0	0	20,030	20,030		
			決算額	21,970	0	0	0	21,970		
H27	平成24年度から実施している、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事に加えて、市内の空き家を購入し、工事完了後に住民登録し居住する者も対象とし、当該住宅のリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付した。 ※事業費再掲、26繰越予算2500万円	募集期間を2週間で年2回行っているが、期間が短いとの要望があり、2週間から1か月と延長した。	計画額	2,000	0	0	2,060	4,060	0.7	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	21,970	0	0	0	21,970		
H28	具体的取組 平成24年度から実施している、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事に加えて、市内の空き家を購入し、工事完了後に住民登録し居住する者も対象とし、当該住宅のリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	0	0	0	20,030	20,030		
			当初予算額	0	0	0	20,030	20,030		
			決算額							
H29	平成24年度から実施している、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事に加えて、市内の空き家を購入し、工事完了後に住民登録し居住する者も対象とし、当該住宅のリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	0	0	0	20,030	20,030		
			当初予算額							
			決算額							
H30	※事業終了予定		計画額	0	0	0	20,030	20,030		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	住宅リフォーム補助件数	住宅リフォーム支援事業補助金交付決定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	130	計画値	130	計画値	130	計画値	-	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	152	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	リフォーム支援制度による 経済効果	商品券交付によって誘発された経済効果の額 (工事総額-交付した交通商品券の交付額)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	千円	計画値	225,000	計画値	180,000	計画値	180,000	計画値	-	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	258,537	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点		20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由 この事業の事業期間が、平成24年度から26年度であり、3か年の事業効果を検証した結果、事業目的である、市民の生活環境の向上及び定住促進、地域経済対策として一定の効果があったことから、市民の要望と事業効果を継続するために平成29年度まで更に3年間延伸した。なお、平成24年から27年度まで4年間の検証結果として申請件数603件、商品券交付額87,727,000円、工事総額1,142,386,730円となっており、市の予算総額に対して約14倍の経済効果があったことから、計画どおり平成29年度までこの事業を継続したものである。						住宅のリフォームによる定住促進及び市内業者の工事による地域経済への効果があり、住民からの要望もあることから、平成29年度まで事業を継続する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅管理事業
-----	--------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月9日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	30	住宅費
目	05	住宅管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	住宅に困窮する低所得者に対して、健康で文化的な生活を営むことができる住宅を整備することにより、生活の安定と社会福祉の増進のため、市営住宅を適正に管理する。	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。	計画額	63,957	0	61,707	103,719	229,383	—	—
			当初予算額	68,535	0	41,133	78,566	188,234		
			決算額	16,624	0	18,748	27,414	62,786		
H27	○市営住宅の管理については、必要に応じて修繕を行い、適正に管理し、老朽化の激しい空き家住宅について除却した。 ○安全で安心して生活ができるよう、「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、鶉部団地の外壁改修工事のほか、上辛立団地4戸、公文明団地6戸の老朽化対策工事及び仁兵谷団地の法面等工事を実施した。	老朽化により問題のある市営住宅を5戸除却し、老朽化等による修繕を実施した。また、鶉部団地の外壁改修工事、上辛立団地老朽化対策工事及び仁兵谷団地の法面等工事を実施した。	計画額	22,057	0	19,807	28,019	69,883	2.2	0.0
			当初予算額	22,057	0	19,807	28,019	69,883		
			決算額	16,624	0	18,748	27,414	62,786		
H28 具体的取組	○市営住宅の管理については、必要に応じて修繕を行い、適正に管理し、老朽化の激しい空き家住宅について除却する。 ○安全で安心して生活ができるよう、「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、神前団地(A棟・B棟・C棟)の外壁改修工事を実施する。また、耐用年数を経過し老朽化の激しい吉見団地及び西井手団地を除却する(どちらも予定)。		計画額	15,500	0	15,500	23,300	54,300		
			当初予算額	46,478	0	21,326	50,547	118,351		
			決算額							
H29	○市営住宅の管理については、必要に応じて修繕を行い、適正に管理し、老朽化の激しい空き家住宅について除却する。 ○安全で安心して生活ができるよう、「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、神前団地(D棟・E棟)及び天王団地の外壁改修工事を実施する。また、耐用年数を経過し老朽化の激しい薬師堂団地・天神下団地を除却する(どちらも予定)。		計画額	13,500	0	13,500	20,500	47,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○市営住宅の管理については、必要に応じて修繕を行い、適正に管理し、老朽化の激しい空き家住宅について除却する。 ○安全で安心して生活ができるよう、「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、筒野団地の外壁改修工事を実施する。また、耐用年数を経過し老朽化の激しい団地を除却する(どちらも予定)。		計画額	12,900	0	12,900	31,900	57,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	市営住宅の除却数	老朽化が進み安全性に問題がある市営住宅の除却数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	戸	計画値	5	計画値	2	計画値	4	計画値	3	
	修繕件数	市営住宅の主体構造部及び附属設備の修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値		実績値		実績値		
成果指標	市営住宅の除却対象件数	安心で安全な生活を充実させるための住宅環境及び周辺環境の整備における除却対象件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	35	計画値	33	計画値	29	計画値	26	
					実績値	35	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値		計画値		計画値		計画値	
						実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で住宅を供給することを目的として建設されたものであり、入居者の状況及び応募状況からも引き続き継続して管理を行う必要がある。また、使用料については、応能応益による家賃設定になっており受益者への負担は適正である。耐用年数を経過した市営住宅が大半であるが、除却や必要最小限の修繕を行うことで最小の経費で管理を行っている。						住宅に困窮する低所得者に対して、住宅を供給するものであり、応募状況は減少しているものの、引き続き必要最小限の修繕を実施する。また、長寿命化計画において大規模改修によりライフサイクルコストの縮減に努める。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	老朽危険空き家対策事業
-----	-------------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	② 空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内の老朽危険空き家(住宅)を所有者が除却する際、除却費用の一部を補助する。	市民の身体、財産、生活環境を保護するために、空家の適切な管理を行う事業である。	計画額	24,000	0	0	8,000	32,000	—	—
			当初予算額	12,000	0	0	4,000	16,000		
			決算額	4,117	0	0	1,374	5,491		
H27	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付	老朽危険空き家除却支援事業補助金の応募者に対して審査を行い、適正に補助金を交付した。	計画額	6,000	0	0	2,000	8,000	0.3	0.0
			当初予算額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			決算額	4,117	0	0	1,374	5,491		
H28	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付		計画額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			当初予算額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			決算額							
H29	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付		計画額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付		計画額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	当該年度の老朽危険空き家除却件数	前年度末現在の老朽危険空き家支援事業補助金を活用して除却した空き家の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	10	計画値	10
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
成果指標	空き家の除却の進捗率	当該年度までの老朽危険空き家除却件数の累計／2,620件(平成25年住宅・土地統計調査における「空家」「その他の住宅」の件数。小数点以下切り上げ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	0.2	計画値	0.3	計画値	0.7	計画値	1.1
					実績値	0.2	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 ／25点	5点	25点 ／25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	空き家の放置による雑草の繁茂、瓦等の落下、動物の往来、倒壊の危険性の相談が多くなっていることから、所有者の特定、現況の調査、改善通知を行い、適正な管理を促す。また、老朽危険空き家除却補助金の活用を周知し、空き家の除却を促進する。						近年、地域における人口減少や既存の住宅・建築物の老朽化、社会的ニーズの変化及び産業構造の変化等に伴い、居住その他の使用がなされていないことが常態である住宅その他の建築物又はこれに附属する工作物及びその敷地が年々増加している。このような空家等の中には、適切な管理が行われていない結果として安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがあることから、対策を推進する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅リフォーム支援事業②(空き家バンク登録住宅関係)
-----	----------------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	② 空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)	
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	住宅リフォーム支援事業(空き家バンク登録住宅)については、平成27年度から移住・定住、地域経済対策として市内の産業の活性化及び雇用の創出を図るため、空き家バンクを通じて購入した市内の空き家を、市内に事業所を有する事業者を利用してリフォームを行う者に、さぬき市共通商品券を交付する補助制度を新たに開始する。	本市への移住・定住の促進と地域経済活性化を目的に市内の事業者を利用して、空き家バンクを通じて購入した空家のリフォームを行う者にその経費の一部を補助する。	計画額	8,000	0	0	8,150	16,150	—	—
			当初予算額	4,000	0	0	4,090	8,090		
			決算額	200	0	0	435	635		
H27	平成27年度から空き家バンク登録物件へのリフォーム工事に係る補助制度を新たに開始し、市外から市内へ移住・定住するために登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付した。	移住・定住促進と地域経済活性化を目的に、空き家バンクを通じて市内の空き家を購入し、リフォーム工事をを行った者に対して、さぬき市共通商品券を交付した。	計画額	2,000	0	0	2,060	4,060	0.1	0.0
			当初予算額	2,000	0	0	2,060	4,060		
			決算額	200	0	0	435	635		
H28	市外から市内へ移住・定住する目的で、空き家バンク登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	2,000	0	0	2,030	4,030		
			当初予算額	2,000	0	0	2,030	4,030		
			決算額							
H29	市外から市内へ移住・定住する目的で、空き家バンク登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	2,000	0	0	2,030	4,030		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市外から市内へ移住・定住する目的で、空き家バンク登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	2,000	0	0	2,030	4,030		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	空き家リフォーム補助件数	住宅リフォーム支援補助金のうち空き家バンク掲載物件のリフォーム補助金の交付決定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	3	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	空き家リフォーム支援制度による経済効果	商品券交付によって誘発された経済効果の額(工事総額-商品券交付額)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	千円	計画値	6,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	6,423	実績値		実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	県の移住促進・空き家改修等補助事業を活用した本市の空き家リフォームについては、現在の補助率が他市町より少ないことから、補助率と補助の上限額を見直し、市外から市内への移住・定住の促進を図る。						市内の空き家を調査し、空き家を有効活用するとともに市への移住・交流を促進させ地域を活性化させるため、空き家バンクへの登録を推進し、補助率拡充を図る。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	空き家等対策事業
-----	----------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	② 空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等対策計画の策定、空き家等実態調査の実施、空き家対策協議会の設立運営等、空き家対策に必要な取組を講じる。	空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、市内の空き家等の有効活用及び危険な空き家の削減を主な目的とする。	計画額	10,500	0	0	10,740	21,240	—	—
			当初予算額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されたことに伴い、本市における空き家等の現状を把握し総合的かつ計画的な空き家等対策の基礎資料の収集のため、実態調査を実施する。	さぬき市内に有する空き家について、戸数、地域毎の分布実態及び各戸老朽・危険度が、把握できていない現状であるため、数値資料が必要である。	計画額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			当初予算額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			決算額							
H29	空き家等対策計画に基づき、空き家等に対して適切に措置を行う。		計画額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			当初予算額							
			決算額							
H30	空き家等対策計画に基づき、空き家等に対して適切に措置を行う。		計画額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	空家等実態追跡調査回数	空家等実態調査成果資料である、空家台帳の情報更新を職員の目視、近隣住民からの情報提供により調査した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	-	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
	空家等に対する措置件数	空家台帳に記載される空家に対して、個別に実施した措置件数(実数更新、除却、改修・再利用)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	-	計画値	2,600	計画値	5	計画値	5	
成果指標	空き家台帳に記載された空き家の数。	空き家台帳に記載された空き家の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	-	計画値	2,600	計画値	2,600	計画値	2,600	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	1点		1点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						
理由	本事業は、平成28年度より開始される事業である。空家の有効活用又は危険空家等周辺環境に影響を与える空家の除却等を主な施策とする。主として、住宅所有者の財産管理に対する働きかけが、活動の基本となるため、有効な啓発活動を行いながら、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家毎の事情に応じた施策を実施する必要がある。現在の事業活動を維持しながら、事業目的の達成に向けて、より有効な対策を検討する。						空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空家対策計画に基づき、空家等の活用及び市民の生活に影響がある特定空家について、事情に応じた施策を実施する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	都市計画策定事業
-----	----------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	③	③ 都市計画の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	都市計画関連の法律に基づく土地利用計画の具体的方策を検討する。	都市の健全な発展と秩序ある整備を目的として、都市計画道路、都市計画区域や用途地域等の分野において、総合的観点から土地利用計画推進施策を実施する。	計画額	408	0	1,614	2,294	4,316	—	—	
			当初予算額	151	0	804	270				1,225
			決算額	106	0	181	0				287
H27	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	都市計画の決定や見直しをするための都市計画審議会の開催の外、他団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	計画額	102	0	402	-100	404	0.2	0.0	
			当初予算額	102	0	402	-100				404
			決算額	106	0	181	0				287
H28	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図る。		計画額	102	0	404	902	1,408			
			当初予算額	49	0	402	370				821
			決算額								
H29	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図る。		計画額	102	0	404	590	1,096			
			当初予算額								
			決算額								
H30	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図る。		計画額	102	0	404	902	1,408			
			当初予算額								
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	都市計画行政に係る都市計画決定(変更)のための審議会開催件数	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数(随時)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
成果指標	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数(随時)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	3点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点						
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	本事業は、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とした、都市計画道路の指定・整備、都市計画区域や用途地域等の設定の分野において、土地利用に関連する事業の推進又は規制を行うものである。市の長期的な土地利用計画を定めた「さぬき市都市計画マスタープラン」に基づく施策を順次実施すべきものであるが、国、県、各種公共交通事業者、関連団体及び関係土地所有者との細やかな調整行いながら、計画を推進する必要があるため、短期の進捗管理が困難であるとの課題を有している。指標の設定のほか、確認できる進捗の捉え方について、検討と改善が必要である。				都市計画における決定・変更がある場合は、都市計画審議회를随時開催し審議を行う。また、平成32年度を目標に「さぬき市都市計画マスタープラン」の見直しに向けて、国、県及び関係各社と調整・協議を行う。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	都市公園管理事業
-----	----------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	④	④ 市民に親しまれる公園・緑地の整備充実

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	20	都市公園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民が文化的・健康的な生活を営むため、市内37カ所の都市公園及び新開公園、真珠島公園、臨海緑地、せせらぎの道等を適正に維持管理する。	市民が文化的・健康的な生活を営み、公共の福祉の増進に資するため、市内37カ所の都市公園及び新開公園、真珠島公園、臨海緑地、せせらぎの道等を適正に維持管理する。	計画額	0	0	32	15,512	15,544	—	—
			当初予算額	0	0	16	8,512	8,528		
			決算額	0	0	8	5,596	5,604		
H27	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 平成26年度から実施している安全点検により不具合のあった遊具の再塗装を継続して実施したほか、オレンジタウン4号公園に設置されている遊具の修繕を行った。	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 街区公園遊具の塗装及び不具合のあった遊具の修繕を実施した。	計画額	0	0	8	5,010	5,018	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	8	5,010	5,018		
			決算額	0	0	8	5,596	5,604		
H28	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図る。		計画額	0	0	8	3,502	3,510		
			当初予算額	0	0	8	3,502	3,510		
			決算額							
H29	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図る。		計画額	0	0	8	3,500	3,508		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図る。		計画額	0	0	8	3,500	3,508		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	維持管理のための草刈、 清掃件数	市民が安全・快適に利用するための草刈、清掃件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	37	計画値	38	計画値	38	計画値	38
					実績値	37	実績値		実績値		実績値	
活動指標	遊具等の安全点検回数	遊具等の老朽化に伴い、安全点検及び現況調査の回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	13	計画値	13	計画値	13	計画値	13
					実績値	13	実績値		実績値		実績値	
成果指標	公園・広場で発生した事故 件数	公園・広場で発生した事故件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	17点 /25点	4点		17点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	市内37カ所の都市公園及び新開公園、真珠島公園、臨海緑地、せせらぎの道等を安心して快適に利用できるように、継続して維持管理を行い、安全で安心して利用できる公園・広場となるように日常的な清掃や草刈り等を行うとともに不具合のある遊具等が発生すれば修繕し機能回復に努め、快適に安心して利用していただけるよう管理する。				市内都市公園等を市民の方が安全で快適に利用できるよう、継続して除草、清掃等を行う。また、遊具等の不具合がある場合は、修繕し機能回復を図る。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	火葬場管理事業
-----	---------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	13	(13) 墓地・斎場の整備
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市斎場は、指定管理者に委託して運営する。また、しずかの里は、三木・長尾葬斎組合が運営する。	人生終焉の場にふさわしい尊厳と品位を有し、遺族にやすらぎと憩を提供できる斎場の運営・管理を行う事業である。	計画額	0	0	52,904	254,634	307,538	—	—
			当初予算額	0	0	28,656	123,027	151,683		
			決算額	0	0	14,281	58,465	72,746		
H27	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援	施設の経年劣化に伴い、修繕等の必要な措置を行った。	計画額	0	0	13,904	59,634	73,538	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	13,904	59,634	73,538		
			決算額	0	0	14,281	58,465	72,746		
H28	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援		計画額	0	0	13,000	65,500	78,500		
			当初予算額	0	0	14,752	63,393	78,145		
			決算額							
H29	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援		計画額	0	0	13,000	67,800	80,800		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援		計画額	0	0	13,000	61,700	74,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	さぬき市斎場の年間火葬件数	さぬき市斎場の年間火葬件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	530	計画値	540	計画値	550	計画値	560
					実績値	529	実績値		実績値		実績値	
成果指標	斎場施設利用に関する苦情件数	施設利用中に生じた困難事案(快適に利用できなかった内容等)に係る意見数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	市民に愛されるようなさぬき市斎場及びしずかの里斎場の環境づくりに努め、適切な管理運営を行う。また、設備の修繕計画を作成し、特定年に経費が集中しないように分散し、必要な改修を進める。						人生終焉の場にふさわしい尊厳と品位を有し、遺族にやすらぎと憩を提供できる斎場の運営・管理を行う。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	墓地公園管理事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成28年5月23日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	13	(13) 墓地・斎場の整備
主要施策	②	②墓地の確保と適切な維持管理

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市民が市営墓地を安心して使用できるよう適正な維持管理を行う。	民間等の墓地を利用することが困難な市民に、市が墓地を整備して提供するとともに、墓地、埋葬等に関する法律に基づく良好な墓地を形成する事業である。	計画額	0	0	14,669	9,663	24,332	—	—
			当初予算額	0	0	8,198	8,358	16,556		
			決算額	0	0	7,420	3,205	10,625		
H27	○市営墓地の管理運営 ○墓地の改葬等の許可 ○共同墓地整備事業補助金の交付 ○墓地管理組合等支援	○市営墓地の維持管理を行った。 ○竹林の里墓地公園の区画造成を実施し、使用者を公募した。	計画額	0	0	5,069	7,137	12,206	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	5,069	7,137	12,206		
			決算額	0	0	7,420	3,205	10,625		
H28	具体的取組 ○市営墓地の管理運営 ○墓地の改葬等の許可 ○共同墓地整備事業補助金の交付 ○墓地管理組合等支援		計画額	0	0	3,200	800	4,000		
			当初予算額	0	0	3,129	1,221	4,350		
			決算額							
H29	○市営墓地の管理運営 ○墓地の改葬等の許可 ○共同墓地整備事業補助金の交付 ○墓地管理組合等支援		計画額	0	0	3,200	863	4,063		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○市営墓地の管理運営 ○墓地の改葬等の許可 ○共同墓地整備事業補助金の交付 ○墓地管理組合等支援		計画額	0	0	3,200	863	4,063		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	市営墓地の使用許可の区画数	市営墓地の使用許可の区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	区画	計画値	2,246	計画値	2,260	計画値	2,275	計画値	2,290	
					実績値	2,245	実績値		実績値		実績値		
活動指標	市営墓地全区画の数	市営墓地の全区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	区画	計画値	2,491	計画値	2,491	計画値	2,491	計画値	2,491	
					実績値	2,491	実績値		実績値		実績値		
成果指標	市営墓地管理不全区画割合	全区画数に対する管理不全区画数の割合 (毎年7月下旬に調査を行っており、管理不全区画とは、使用許可をしている区画のうち、雑草が生えるなど適正な管理をしていない区画をいう)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	2.4	計画値	2.1	計画値	1.8	計画値	1.4	
					実績値	1.9	実績値		実績値		実績値		
成果指標	市営墓地利用率	市営墓地の全区画の数に対する使用許可の区画数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	91.5	計画値	92.1	計画値	92.7	計画値	93.3	
					実績値	90.1	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	市営墓地の使用状況を調査し、不適切な使用者に対して適正な管理を通知するなど、適切な管理運営に努める。 市営墓地の区画については、未使用の区画があることから新たな設置は必要ないと考えている。						歴史的な背景をもとに、市営墓地、地区管理墓地、個人墓地、民間墓地等さまざまな形態がある。こうしたそれぞれの役割分担のもとで法令等に即した適切な経営を推進する。また、市営墓地については、民間等の墓地を利用することが困難な市民に墓地を提供する。						